

外国語科学習指導案

単元名「Let's think about our food.」

令和2年11月4日（水）第5校時 3階多目的スペース

指導者 ○○ ○○

ALT ○○ ○○

○○ ○○

I 単元の構想

1 身につけさせたい資質・能力および児童の実態

| | 身につけさせたい資質・能力 | 児童生徒の実態 |
|---------------|--|--|
| 知識・技能 | <p>〈知識〉 I ate ～. I usually eat ～. ～is from …. ～ is in the…group. およびその関連語句について正しく理解することができる。</p> <p>〈技能〉 食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて関連する語句を用いながらお互いの考えや気持ちを伝え合うことができる。</p> | <p>単元の導入で用いるリスニング活動では、音声や映像をヒントに、聞き取れた英語をたくさんメモし、短い話の概要を捉えることは得意である。また、その単元内で用いた関連語句や基本的な表現は、意味をしっかりと理解しながら使おうとする。しかし、その関連語句を用いた活動の中で、簡単な既習表現を使えばいい場面でも、それを即興的に選択し、用いることのできる児童は限られている。</p> |
| 思考力・判断力・表現力 | <p>自分の食生活やオリジナルメニューについて知ってもらったり、相手の食生活やオリジナルメニューを知ったりするために、世界のつながりや栄養素について考えながら、自分の考えや気持ち、その理由などを簡単な語句を用いて伝え合うことができる。</p> | <p>ペア活動やグループ活動において、より相手に伝わりやすい表現にするためにはどんな工夫をすれば良いか、どんな内容を足せば良いかを積極的に考え、適切なものを選択することができる。しかし、グループ内で活動する際には個人差が大きく、こちらが提示した中からしか選択できない児童もいる。</p> |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <p>自分の食生活やオリジナルメニューについて知ってもらったり、相手の食生活やオリジナルメニューを知ったりするために、世界のつながりや栄養素について考えながら、自分の考えや気持ち、その理由などを簡単な語句を用いて伝え合おうとしている。</p> | <p>話されている内容に興味を持って耳を傾け、言語活動に主体的に取り組んでいる児童が多い。書く活動でも、単語と単語の間隔に注意しながら例文を参考に書こうとする姿勢も見られる。世界と日本の文化に関する相違点にも着目しながら、自分の意見を持ち、それを積極的に伝えようとする児童がほとんどである。しかし、ペアやグループ内では自信を持って発表できても、全体への発表となると消極的な児童が見られる。</p> |

2 目標

自分の食生活やマイクロネシア連邦と日本食との食材をミックスさせたオリジナルメニューを知ってもらったり、相手の食生活やオリジナルメニューをよく知ったりするために、食べ物や具材など、具体的な情報を聞き取ったり、自分の考えや気持ちを伝え合ったりできる。

※マイクロネシア連邦は富岡市のオリンピックホスト国であり、本単元では、児童のオリジナルメニューをマイクロネシア連邦の友達にビデオレターとして送ったり、富岡市給食センターの栄養士に給食のメニューとして提案したりする予定である。

3 評価規準

| | 知識・技能（ア） | 思考・判断・表現（イ） | 主体的に学習に取り組む態度（ウ） |
|-----------|--|--|--|
| 話すこと・やりとり | <p>〈知識〉 I ate ～. I usually eat ～. ～is from …. ～ is in the…group. およびその関連語句について理解している。</p> <p>〈技能〉 食べ物や具材などについて、I ate ～. I usually eat ～. ～is from …. ～ is in the…group. 等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p> | <p>自分の食生活やオリジナルメニューをよく知ってもらったり、相手の食生活やオリジナルメニューを知ったりするために、食べ物や具材などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> | <p>自分の食生活やオリジナルメニューをよく知ってもらったり、相手の食生活やオリジナルメニューを知ったりするために伝えるために、食べ物や具材などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> |

4 単元計画および指導方針

| 時 | 過程 | 学習活動 | 評価 | 指導方針 |
|---|------|---|----|--|
| 1 | つかむ | <ul style="list-style-type: none"> Small Talk から、「ミクロネシア連邦と日本の食材を使ってオリジナルメニューを発信する」という単元のゴールを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">◎「オリジナルメニュー」を作って発信しよう！</div> <ul style="list-style-type: none"> Starting Out を聞いて分かったことを発表し、表現を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○食べたものやそれらの産地についてのやりとりの内容を理解しよう</div> | | <ul style="list-style-type: none"> 単元導入の Small Talk では、ALT とのモデル会話に興味を持って聞ける様、わくわくするしかけを準備する。 モデル会話を基にペアで会話する際は、ピクチャーディクショナリーを使用させ、幅広く表現できるようにする。 単元ゴールを達成させる為にはどんなフレーズが必要かを児童自身に考えさせる。 |
| 2 | | <ul style="list-style-type: none"> Let's listen 1、2 の音声聞き、答えのカードを選び、語順について気づいたことを発表する。 Let's try 2、3 のペア活動で、「～is from…」や「～is in the…group.」のやりとりをし、モデル文を読んだり、書いたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○食べ物がどこの産地で、どの栄養素のグループに入るのかについて伝え合おう</div> | ア | <ul style="list-style-type: none"> Small Talk では、既習事項も織り交ぜながら、キーフレーズがわかりやすいように提示する。 語順が把握しやすいよう、色黒板を使用し、視覚的にわかりやすくする。 英文を書く際には、ピクチャーディクショナリーを使用させ、幅広く表現できるようにする。 WORDBANK に使いたい表現をためていく。 |
| 3 | 追究する | <ul style="list-style-type: none"> Enjoy Communication・Step 1 の映像を見て、オリジナルメニューの提示の仕方をつかむ。 Step 2 でヒントを復唱し、よりよく伝わるよう、「わたしのせりふ」に追加文を書く。 「わたしのせりふ」を参考にペアでオリジナルメニューを考え、食材やなぜそうしたか等の理由も提案する。 発表用のポスターを描く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○オリジナルメニューをペアで作成しよう</div> | アイ | <ul style="list-style-type: none"> Small Talk では、日本と ALT の祖国フィリピンの食材を例に、どんな風にオリジナルメニューを作成すればいいのかわかりやすく提示する。 「わたしのせりふ」がしっかり読めているか机間巡視する。 よりよく伝わるにはどんな追加文が必要か児童自身に考えさせる。 ペアの考えを聞く姿勢を大切に、協力してより良いメニューが生まれるよう促す。 WORD BANK に使いたい表現をためていく。 |
| 4 | 本時 | <ul style="list-style-type: none"> オリジナルメニューを発表できるよう、基本的な表現を使ってペアで練習する。 ペア同士でどちらのスペシャル食材がいいかディベートする。 質問にペアで考える。 発表後、お互いにどちらのメニューが代表になるべきか話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ペア同士でオリジナルメニューディベートバトルをし、どちらがグループ代表メニューにふさわしいかを決めよう</div> | イ | <ul style="list-style-type: none"> Small Talk では、食べ物に関してのディベートをし、どちらが優れているかを言わせたり、考えさせたりする。 質問の例を提示し、ディベートできるようにする。 ワークシートは、メモや絵を効果的に使用し、英文を読む作業ではなく、しっかり伝える活動を意識させる。 ディベートをスムーズにする為、机間巡視をしながら助言する。 良いディベートを中間評価し、発表させ、全体で確認してから再開させる。 WORD BANK に使いたい表現をためていく |

| | | | | |
|---|------------------|---|--------|---|
| 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞いて、お互いに質問をする。 ・クラス全体でのプレゼンテーションポイントを再確認する。 ・発表を聞いて良かった点、悪かった点をお互い意見交換できるようにする。 ・投票する際に、そのオリジナルメニューを選んだ理由を明確にし、伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○グループ毎にオリジナルメニューを発表し、質問をたくさんしよう。 どのメニューを発信するのが一番ふさわしいか、クラス代表を決めよう</p> </div> | イ ウ | <ul style="list-style-type: none"> ・Small Talkでは、メニューに関する発表に対し、いくつか質問し、質問の仕方を提示する。 ・見やすい発表、ポスターの提示の仕方を考えさせる。 ・発表を聞いて、即興的な質問ができるよう児童自身に考えさせ、準備させる。 ・自信を持って発表できるよう、十分な練習時間を確保する。 ・自分の意見をしっかり持てるように、そのメニューを選んだ理由を明確にし、相手に伝えさせる。 ・プレゼンテーションポイントを常に意識させる |
| 6 | ま と め る | <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオレターの準備をし、どんな表現が伝わりやすいかを考え、スクリプトをグループで話し合い、決める。 ・代表メニューの発表に関して修正するところがあるか検討する。 ・ビデオを撮る。 ・Unit 6について全体を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ミクロネシア連邦へオリジナルメニューに関するビデオレターを作ろう</p> </div> | イ ウ | <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオレターでは、どんな表現が伝わりやすいかを考えさせ、台本を工夫させる。 ・発表台本の追加文や修正文はないかを全体で話し合わせる。 ・振り返りの際、ゴールに対して何を考え、どんなことができるようになったのか具体的に書かせ、発表させる。 ・児童の中によい表現があったら提示し、WORD BANKにためていく。 <p>※家庭科の授業において、富岡市給食センターの栄養士さんへ給食メニューを提案する予定である。</p> |

※ 評価において、印がない箇所は各単位時間において目標に向けて始動は行うが、記録に残す評価は行わない。

II 本時の学習

<ねらい>

ミクロネシア連邦と日本との食材をミックスさせたオリジナルメニューのスペシャル食材について、ディベートでやりとりすることを通して、自信をもってオリジナルメニューを伝えることができるようにする。

<展開>

| 学習活動 | 指導上の留意点 | |
|--|---|--|
| | T 1 (JET) | T 2、3 (ALT) |
| 1 Warm up (1分) | | |
| 2 あいさつ (1分) | <ul style="list-style-type: none"> ・明るく始められるようクラス全体の雰囲気を作る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・明るく始められるようクラス全体の雰囲気を作る。 |
| 3 Small Talk (5分) <ul style="list-style-type: none"> ・「日本のバナナとフィリピンのバナナはどちらがいいか」というディベートを聞き、どちらがいいか自分自身で考えながら参加する。 ・ペアで自分の意見を伝え合う。 ・質問に簡単な単語、または英文で答える。 ・今日のためてについて考え、全体で確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・興味をもって会話が聞けるよう、ゆっくりはっきり話す。 ・理解しているか児童の反応を見ながら進める ・自分の考えや気持ちを楽しみながら伝え合えるよう雰囲気を作る。 ・わからない質問や主張はALTに質問させながら、WORD BANKにためていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・興味をもって会話が聞けるよう、ゆっくりはっきり話す。 ・伝わりやすいようにジェスチャーや簡単な語句で説明するようにする。 ・質問をなるべく多く投げかける。 ・質問に答える際に、簡単な単語でもいいから答えるよう励ます。 |
| <p><単元のためて> ミクロネシア連邦と日本との食材をミックスさせた「オリジナルメニュー」を作成し、ミクロネシア連邦の友達に教えよう。</p> <p><本時のためて> ペア同士で「オリジナルメニュー」のディベートバトルをし、どちらがグループ代表メニューにふさわしいかを決めよう</p> | | |
| 4 ディベート表現練習 (8分) <ul style="list-style-type: none"> ・既習表現の中からディベートで使う表現は何かを考える。 ・全体練習をする。 ・ペアでワークシートに表現したい内容を書く ・ペア練習をする。 ・ペアでわからない単語や話せない英文を確認し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・既習表現の中でどの表現がディベートで使えるか考えさせる ・しっかり言えているか机間巡視する。 ・教え合っているペアの良いところを賞賛する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・見やすいパワーポイントを提示する。 ・大きな声でしっかり練習できているか机間巡視する。 ・支援の必要な生徒に寄り添い励ます。 ・提示の工夫をする。 |
| 5 ディベートバトル (18分) <ul style="list-style-type: none"> ・ペア同士でディベートバトルをし、どちらかのメニューが代表にふさわしいかを決める。 ・模範となるペアに発表させ、やりとりのポイント等を意識しながら、良いところを自分たちのディベートバトルに反映させる。 <p>【中間評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良いところを参考にディベートバトルを再開する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・しっかり活動できているかを確認し、机間巡視しながら指導する ・コミュニケーション活動を活発にできるよう雰囲気を大切にする ・大きな声で積極的に頑張ったことを必ず賞賛する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・英語の指示でも理解できるようにわかりやすい英語を使つて的確に助言する。 ・コミュニケーションポイントを意識させる。 ・良いポイントを賞賛する。 |
| <p>【評価規準】【思考力・判断力・表現力(イ)】 食べ物の栄養素や味などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合い、日本とミクロネシア連邦の料理や食材において何が一番合うのかを選び、その理由を簡単な語句を用いて表現できる。</p> <p>(行動観察・ワークシート・振り返りシート)</p> | | |

| | | |
|--|--|--|
| <p>6 書く活動によるまとめ (7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時で慣れ親しんだ英文をワークシートに書き写しながらまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スペルの書き写しミスがないか、文字や単語の間隔は正しいか確認しながら机間巡視する | <ul style="list-style-type: none"> ・スペルの書き写しミスがないか、文字や単語の間隔は正しいか確認しながら机間巡視する |
| <p>7 振り返りと次時の予告 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートにめあてに沿って言えたことや言いたかったことを振り返る。 ・友達の意見や聞き取ったこと、やり取りを通じて知ったことを書く。 ・振り返りについて発表する。 ・次回の予告を聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・言語面と内容面の両方の視点を持って振り返りができるように促す。 ・振り返りが具体的に書けている児童に発表させ、賞賛する。 ・具体的に書けていない児童に対しては、質問をし、具体的に書けるよう促す。 ・次時が楽しみになる予告をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・頑張った児童に直接賞賛の言葉を伝える。 ・振り返りが書けているか机間巡視をする。 |

<板書計画>

Wednesday
November
4th

Class Menu

1. Greeting
2. Small Talk
3. Practice
4. Debate battle
5. Writing
6. Evaluation

Lesson Goal

ミクロネシアの食材でオリジナルメニューを作ってビデオレターを作ろう！
給食センターの栄養士さんにオリジナルメニューを提案しよう！

Today's Goal

ペア同士で『オリジナルメニューディベートバトル』をし、どちらがグループ代表メニューにふさわしいか決めよう！勝負！

Micronesian food














